

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217

Mail：sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

HP：<http://sagamihara-koureikyo.org/>

●相模原市高齢協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

●新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。本年も市内高齢者福祉施設の発展のため尽力してまいります。会員の皆様におかれましては、相模原高齢協の活動にご理解ご協力いただけますようお願いいたします。

昨年は介護報酬の改定が行われ、このまま物価が安定すればなんとか経営も安定していくかと思いきや、その後の物価高騰が半端ではありませんでした。最低賃金も上がり大手企業の給与もどんどん上昇していく。高齢者福祉施設はすぐに物価の上昇に追いつけない状況に陥りました。公定価格に縛られる介護保険制度では、柔軟に価格改定ができないのが致命的な欠点です。これを埋めるための物価高騰対策補助金は現在も続いていますが、支給額も減ってきています。私たちは次の介護報酬改定まではあと2年も辛抱せねばならないのでしょうか？

昨年開催された特養経営実態調査フォローアップ研修で、調査を請け負った川原経営のコンサルタントが、「相模原の施設だけがエアポケットに落ちてしまったかのように経営状況の増悪が進んでおり、赤字施設が約8割になった従来型特養はもはや各施設の努力を超えた状況で、行政と協力して対策を取らなければ手遅れになる」と声を大にして訴えていました。

相模原の従来型特養の赤字経営については様々な要因が重なり合っていると考えられますが、それらを収斂すると人材獲得問題に行き着くのかもかもしれません。職員が揃わないので加算が獲得できないとかサービスの質が低下するなどの問題が発生して経営の悪循環に陥っていく。しかしこれだけでは相模原の従来型特養だけがエアポケットに落ちたように経営状況が増悪したことを説明することはできません。なぜなら相模原には独自の問題として定員規模が小さい施設が多いことがこの経営赤字問題の副次的要素となっているからです。かつて定員数が50床特養+20床ショートで整備された相模原の従来型特養は規模のメリットが発動しにくく、入所要件が要介護3以上の時代にあっては空床が頻繁に生じると経営に大きなダメージをもたらしてしまいます。

こうした状況を踏まえ、今回提出する相模原市への「要望書」では経営と雇用の安定化を図るための要望として、地域区分の見直しや大規模修繕への補助、人材獲得のための支援を相模原市老健協とともに訴えております。しかし、物価高騰への根本的解決策は公定



相模原市高齢者福祉施設協議会
会長 大久保 祐次

価格の見直しであることは自明の理であります。国が緊急対策としてこれからどう動いてくれるかはとても重要なことですが、介護サービス事業者としては価格改定の可能な自己負担額などについては早急な改定を行っておくことも必須といえるでしょう。

今回の市への要望内容は、既存の法制度のなかで手当てできることを訴えています。しかし相模原のような独自の問題に対処するにはもっと根本的な解決策を講じる必要があるでしょう。それには全国規模での介護施設経営データを分析し、小規模、中規模施設がどれほど経営赤字に陥っているのか確認したうえで対策を考えなければなりません。このような検証を行った上での対策としては、定員別の報酬体系の構築というのもあるでしょうし、増床ということも考えられます。しかし、いずれにしても大規模施設でなくては経営が成り立たないという仕組みになっているとすれば、既存の法制度を超えた施策または制度の見直しなどが必要ではないかと思えます。

介護保険制度がスタートして25年、そろそろ団塊ジュニア世代の老後を見すえた制度改革や抜本的見直しが必要な時期に来ているのではないのでしょうか。そうした検討会などを国や関連機関が立ち上げる中で、我が国の高齢者介護の未来像を描きなおす必要性があると感じます。

●第2回「合同施設長会」開催

10月30日、相模原市民会館にて**合同施設長会**が開催されました。内容は以下の通りです。

- 相模原市「要望書」について
- 政治活動取扱規程（改訂）について
- 会員について（新規入会、施設長交代）
- 第22回「かながわ高齢者福祉研究大会」について
- 「介護イメージアップ事業」について
- 高齢協パンフレット（改訂）について
- デイサービス部会「アンケート調査結果」について
- 病院協会「施設高齢者下り搬送事業」研修会について
- 合同地区親睦会（案内）について
- 業態別 部会

当日は、先の衆議院日員選挙で初当選を果たされた前副会長の
大塚さゆり氏が来場され、ご挨拶をいただきました。



●合同地区親睦会 開催

11月14日、3区合同職員親睦会が5年ぶりに大盛況で開催されました。橋本のアリオ デジキュー B B Qテラスを会場に、会員17事業所職員から47名、賛助会員7社から13名の総勢60名で、楽しいひとときを過ごしました。

普段顔を合わせない事業所の職員と賛助会員が交流を深めるまたとない機会。広々としたテラスでみんなで協力してBBQを堪能し、チーム対抗のゲーム大会では、和気あいあいとしながらも白熱した戦いが繰り広げられ、会場は笑顔の渦に包まれました。

食事やゲームの合間には、普段話せない同僚と気軽に話せる時間もあり、親睦を深めることができました。

職員間の親睦を深め、仕事に対するモチベーション向上にも繋がる得難い機会となりました。



●「介護の日フェアinさがみはら」開催

12月1日、第16回「介護の日フェア in さがみはら」をユニコムプラザにて開催しました。内容は以下の通りです。

- 次世代を担う介護職員等勤続表彰式
- アロマ消臭スプレー作り体験
- 福祉機器体験・骨密度測定体験
- シニア疑似体験
- 介護相談コーナー
- 『介護に笑顔はよく似合う』写真展表彰式



次世代を担う介護職員勤続表彰
受彰された皆さん 記念撮影

今回は、普段目にするのでできない福祉機器の体験、骨密度の測定やシニア体験、介護に関するよろずの相談などなど、参加型の催しとなり、来場された多くの市民の皆さまに大変好評をいただきました。

写真展のコンテストでは、最優秀作品賞に「特別養護老人ホーム 柴胡苑」、優秀作品賞に「介護老人保健施設 ケアガーデンさがみ湖」「介護老人福祉施設 さがみ湖桂寿苑」の2作品が選ばれました。その他出品された作品は Youtube 動画ですべてご覧いただけます。



「介護には笑顔が良く似合う」写真展
コンテスト 受賞された皆さん 記念撮影

「介護には笑顔が良く似合う」
写真展 Youtube 動画



【最優秀作品賞】
「笑顔満開!!つつじも満開!!」
(特別養護老人ホーム 柴胡苑)



【優秀作品賞】
「元気な子、産むんだよ!」
(介護老人保健施設
ケアガーデンさがみ湖)



【優秀作品賞】
「36500日の旅」
(介護老人福祉施設 さがみ湖桂寿苑)

「空床・入所待ち情報」「デイサービス空き状況情報」サイトのご案内

当協議会ではホームページ上に市内特養各事業所の「空床・入所待ち情報」および「デイサービス空き情報」を案内するサイトを設けています。

これは、市内特養、デイサービス事業所の利便性を訴え市民のニーズに応えるとともに、空床期間、空き状況を短縮する等、事業所経営の効率化を図ることを主眼としたものです。

空床・入所待ち状況、空き状況や対応できるサービス(条件)等の情報を事業所ごとに表示するほか事業所のPR欄もありますので、ご活用ください(各事業所のホームページへのリンクもできるようになっております)。



特別養護老人ホーム
「空床・入所待ち情報」
案内サイト



「デイサービス空き情報」
案内サイト

●研修「介護現場における口腔ケア研修

～正しい口腔ケアの取り組みと技術的指導～」開催

11月8日、「介護現場における口腔ケア研修会 ～正しい口腔ケアの取組と技術的指導～」と題した研修を、歯科医師で株式会社クロスケアデンタル CEOの瀧内博也先生を講師に迎え、オンラインにて開催しました。

高齢者の口腔ケアは、誤嚥性肺炎はもとより、さまざまな身体疾患を予防する上で非常に重要な鍵となります。また、心理、生活面においても、食べることや話すことを充実させるなど、QOLの向上を講じる上でも不可欠なものと言えます。

本研修では、口腔ケアの基礎知識から実践的な援助方法までを学び、より質の高いケアを提供できるよう、職員の意識向上とスキルアップを図る絶好の機会となりました。

●現任研修「介護福祉士受験直前対策講座」開催

10月16日、11月11日、11月25日の3日間に渡り、和泉短期大学介護福祉専攻科特任教授、佐久間志保子先生、同准教授、佐藤美紀先生、特任教授、中野志津江先生を講師に迎え「介護福祉士受験直前対策講座」を開催しました。

本講座は、第37回（令和6年度）介護福祉士国家試験合格を目指し、日々の業務に励む職員を対象に、試験対策のサポートを目的として実施されました。

介護福祉士国家試験は、介護の現場で働く者にとって大きな目標の一つです。しかし、多忙な業務の中、試験対策を進めることは容易ではありません。本講座は、日頃、教育の現場に携わる経験豊富な諸先生により、試験に出やすい範囲を絞り込み、効率的な学習方法を伝授することで、合格への道をサポートする内容となりました。

受講された皆さんは、介護現場で働きながら合格を目指し真剣な眼差しで取り組まれていました。

●研修「介護施設の経営・運営の改善成果を高める考え方」開催

12月12日、「介護施設の経営・運営の改善成果を高める考え方」と題した研修を株式会社川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 山縣慶氏を講師に迎えて開催しました。

2023年度（令和5年度）の特養経営実態調査の結果を見ると、相模原市内の事業所の経営状況は過去最低水準に陥っています。また、令和6年度の介護報酬改定や物価高騰、人材不足なども相まって事態はさらに進行する趨勢にあります。

本研修では、実態調査を踏まえ、全国の動向も眺めつつ相模原市内の事業所の経営実態の指標を提示し、特養における介護サービスの「市場」という視点からその経年変化、さらには介護報酬改定も念頭に置きながら、いかに事業経営を安定させるかという解説がなされました。

【少子高齢化から生じる介護人材不足の今後】

少子高齢化が加速する中、介護人材不足は日本社会の持続可能性を揺るがす深刻な社会問題となりつつあります。高齢者の人口がピークを迎える2040年には、介護職員が全体で約57万人不足すると予測されています。このままでは、介護が必要な人が適切なサービスを受けられなくなるだけでなく、介護職員の負担も増大し、離職が加速する悪循環に陥る恐れも出てくるでしょう。

人材不足によって、介護サービスの質の低下や、介護を受ける人たちの生活の質の低下を招くことは避けなければなりません。一方で、介護職の地位向上や待遇改善による働きやすい環境づくりを進めることも求められます。こうした課題を解決するには、国や自治体、事業者が一体となった多角的な取り組みが必要になるのではないのでしょうか。

● 賛助会員紹介

株式会社 ケイ・アース



K-earth

ケイ・アースでは「継続可能な社会の創造」のために様々な業務を行っております。

町の万屋を目指しお客様の「困った！」を解決することに全力で対応しています。

業務に共通することはお客様の暮らしをより良くすること。環境ごとに発生する多種多様な問題を取り除き、今までより快適で安全な場所にすることがケイ・アースのお仕事になります。

【お問合せ】 株式会社 ケイ・アース
代表取締役 岡野 智博

☎ 042-707-9307

✉ info@kearth.co.jp

URL <https://www.kearth.co.jp/index.html>

【賛助会員】

株式会社 コンティ
守屋綜合法律事務所
株式会社 ノノ輪建設
株式会社 ケイ・アース
株式会社 中島建設
住宅型有料老人ホーム 勢水
住宅型有料老人ホーム あんず
株式会社 永田屋
日本ゼネラルフード 株式会社
株式会社 IDO
ケアミックス 株式会社
株式会社 シマソービ
リンデンB・I 町田・相模原
株式会社 伊藤典範
株式会社 アースアンドウォーター
Career-Now
株式会社 ユニヴァ・ジャパン
株式会社 トレセレ
一般社団法人 アンターミナル
一般財団法人 北里環境科学センター
国際商事 株式会社

株式会社 ウェブトラスト
Office CPSR (臨床心理士・
社会保険労務士事務所)
山岸誠 (個人)
アライブかながわ
住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅
日興テクノス 株式会社
株式会社 きらぼし銀行 相模原法人営業部
株式会社 ナリコマエンタープライズ
エス・エスホームケア 株式会社
株式会社 リンク・アップ
神奈川県ロイヤル 株式会社
公益財団法人 相模原市勤労者福祉サービスセンター
株式会社 キージェネレーション
株式会社 アルプス技研
株式会社 ヴィレツジ
株式会社 Z-Works
株式会社 オリバー
ハッピーライフコーポレーション 株式会社
一般財団法人 日本介護福祉施設健診協会
敬称略/加入順

● 編集後記

広報紙第43号をお届けします。今後もより一層、内容を充実させてゆく所存です。施設や職員の紹介、イベント案内など、どんなものでも結構です。ご意見、情報などご遠慮なくお寄せください。

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)
TEL : 042-707-1136 FAX : 042-707-1217
Mail : Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

